

空き家情報管理システム仕様書

Version 1.0

目次

1. このドキュメントについて.....	3
1.1. はじめに.....	3
1.2. 対象読者.....	3
2. 概要.....	3
3. 動作環境.....	3
4. サービス構成.....	4
4.1. 本システムで使用している Google クラウドサービス	4
4.2. 空き家外観調査票 入力フォーム.....	5
4.2.1. 概要.....	5
4.2.2. 入力権限	5
4.2.3. 入力項目一覧	5
4.2.4. 画面説明	7
4.2.5. 送信時イベント	10
4.3. 空き家外観調査票管理シート	11
4.3.1. 概要.....	11
4.3.2. 閲覧、編集権限.....	12
4.3.3. 項目一覧	12
4.3.4. カスタムメニュー.....	15
4.4. 調査結果ログ	17
4.4.1. 閲覧、編集権限.....	17
4.4.2. タイムトリガーイベント.....	17
4.5. 管理者用マスタ	18
4.5.1. 概要.....	18
4.5.2. 閲覧、編集権限.....	18
4.5.3. 項目一覧	18
4.6. 空き家外観調査票 Google サイト.....	18
4.6.1. 概要.....	18
4.6.2. 閲覧、編集権限.....	19
4.6.3. 画面遷移	19

4.7. 空き家情報管理システム Fusion Tables.....	21
4.7.1. 概要.....	21
4.7.2. 閲覧、編集権限.....	21
4.7.3. 項目一覧	22
4.7.4. 各種機能	22

1. このドキュメントについて

1.1. はじめに

本ドキュメントでは、サイファー・テック株式会社が提供する「空き家情報管理システム」(以下、本システム)の仕様について記述します。

1.2. 対象読者

本ドキュメントの読者は、本システムの所有者である徳島県住宅供給公社、及び徳島県住宅供給公社の許可を得て本システムを管理する管理者を対象としています。

2. 概要

本システムは、徳島県住宅供給公社が進める徳島県内の空き家の実態調査を支援するためのシステムであり、Google 社が提供するクラウドサービス G Suite Business(<https://gsuite.google.co.jp/>)を利用しています。

本書に記載している仕様については、G Suite Business の仕様変更に伴い予告なしに変更されることがあります。

また、本文で参照している URL は、2016 年 11 月時点のものになります。

3. 動作環境

G Suite のサポート対象のブラウザをご確認ください。

・G Suite のサポート対象のブラウザ: <https://support.google.com/a/answer/33864?HI=JA>

なお、本システムに向けて当社が個別に開発した機能については、Google Chrome バージョン 54.0.2840.99 m にて正常動作することを確認しています。

本システムの各機能を利用する際は、Google Chrome を使用してご利用ください。

4. サービス構成

4.1. 本システムで使用している Google クラウドサービス

本システムは、以下の Google クラウドサービスを利用して構成されています。

Google ドライブ: <https://gsuite.google.com/intl/ja/products/drive/>

G Suite Business で利用できるオンラインストレージです。

本システムで利用するクラウド上のスプレッドシートや Google フォームは、全てこのストレージ上に管理されます。

Google フォーム: <https://gsuite.google.com/intl/ja/products/form/>

G Suite Business で利用できる、アンケートを作成、分析できるサービスです。

本システムにおける Google フォームの利用内容については、「4.2 空き家外観調査票 入力フォーム」を確認してください。

Google スプレッドシート: <https://gsuite.google.com/intl/ja/products/sheets/>

G Suite Business で利用できるオンライン表計算ツールです。

本システムではカスタムメニューを開発しており、スプレッドシートの情報をもとに後述する Google サイト、及び Fusion Tables への登録機能も備えています。

本システムにおける Google スプレッドシートの利用内容については、「4.3 空き家外観調査票管理シート」を確認してください。

Google サイト: <https://gsuite.google.com/intl/ja/products/sites/>

G Suite Business で利用できるウェブサイト作成、公開サービスです。

本システムでは閲覧機能の他、独自の検索機能を開発しています。

本システムにおける Google サイトの利用内容については、「4.6 空き家外観調査票 Google サイト」を確認してください。

Fusion Tables: <https://support.google.com/fusiontables/answer/2571232> (英文のみ)

Google マップと連動できるオンラインのデータベースツールです。

管理画面にログインすることで、各種フィルターを適用しながらGIS 画面を参照することができます。

本システムにおける Fusion Tables の利用内容については、「4.7 空き家情報管理システム Fusion Tables」を確認してください。

4.2. 空き家外観調査票 入力フォーム

4.2.1. 概要

本入力フォームは、空き家判定士が一次調査の結果を入力するための入力フォームです。

空き家判定士は事前に入手した入力フォームのリンクからアクセスし、調査結果を本システムに送信します。

4.2.2. 入力権限

本入力フォームは全市町村で共通のものを使用します。

ユーザー種類	入力権限	編集権限
システム管理者	○	○
各市町村の管理者(G Suite アカウント保有者)	○	
空き家判定士	○	

システム管理者は、各市町村の管理者に入力フォームの入力用の URL を通知します。

入力用 URL の連絡方法については、Google の以下のドキュメントを確認してください。

・フォームを他のユーザーに送信する：<https://support.google.com/docs/answer/2917111?hl=ja>

なお、G Suite ビジネスを利用中のアカウントは初期設定では社外のアカウントにファイルを共有することはできません。

特定のドメインのユーザーにファイルを共有する方法は、Google の以下のドキュメントに記載されている、[ユーザーが組織外のホワイトリスト登録済みドメインとのみ共有できるようにする] をご確認ください。

・ファイルの共有権限の設定：<https://support.google.com/a/answer/60781?hl=ja>

同様に、システム管理者、または市町村の管理者が空き家判定士に入力フォームを連携する際には、入力用の URL を空き家判定士に連絡します。

入力用の URL からは誰でも入力が可能となるため、入力用 URL は各市町村の管理者と空き家判定士以外に公開しないようにしてください。

4.2.3. 入力項目一覧

調査内容	項目名	種類	入力規則	説明
調査票情報	市町村	ドロップダウンリスト	-	ドロップダウンリストから、空き家を管理する市町村を選択します。

	所在地	文字列	-	市町村より後の住所を入力します。
	緯度、経度	文字列	半角数字、ドット(.)、半角カンマ(,)、スペースのみ使用可	半角カンマ(,)区切りで、緯度、経度の座標情報を入力します。説明欄にある Google マップで取得した位置情報をコピー、ペーストして入力します。
	建物番号	文字列	-	建物番号を入力します。内容は各市町村の指示に従ってください
	地図番号	文字列	-	建物番号を入力します。内容は各市町村の指示に従ってください
	調査日	日付	-	調査年月日を入力します。年、月、日にそれぞれ半角数字を入力するか、カレンダーアイコンをクリックして表示されるカレンダーから日付を選択します。
	空き家判定士番号	文字列	-	空き家判定士番号を入力します。
	空き家判定士氏名	文字列	-	空き家判定士の氏名を入力します。
空き家であることの確認	1. 電線の引き込みや電気メータがない	グリッド	-	質問項目に応じて、○か×を選択します。
	2. 郵便受けが塞がれているまたは郵便物等が大量にたまっている			
	3. 雨戸を閉め切っている			
	4. 表札やカーテンがない			
	5. 生活感がない(洗濯物・家庭用品等が見えない)			

	6. 「入居者募集」や「売物件」等の看板がある			
	7. その他			
空き家の概要	1. 種類	ラジオボタン	-	該当する項目を一つだけチェックします。
	2. 構造			
	3. 階数			
	4. 屋根	チェックボックス	-	該当する項目をチェックします。 (複数選択可)
	5. 外壁			
	6. 門扉	ラジオボタン	-	該当する項目を一つだけチェックします。
	7. 塀			
	8. 駐車場			
	9. 前面道路			
空き家の老朽度・危険度	1. 建物の傾斜	ラジオボタン	-	該当する項目を一つだけチェックします。
	2. 屋根			
	3. 外壁			
	4. 居住可能性			
周辺への影響	1. 雑草・樹木	ラジオボタン	-	該当する項目を一つだけチェックします。
	2. 物品・廃棄物			
	3. 開口部			
	4. 建物が倒壊した場合 [隣接建物]			
	4. 建物が倒壊した場合 [前面道路]			
コメント	コメント	文字列	-	コメントがあれば文章を入力します。(省略可)

4.2.4. 画面説明

4.2.4.1. 入力画面

事前に入手した入力フォームのリンクからアクセスすると、フォームの入力画面が表示されます。

空き家外観調査票

*必須

市町村 *

選択

所在地 *

市町村より後の住所を入力してください

回答を入力

緯度、経度 *

Google マップから、緯度、経度を取得してください。 goo.gl/uo6l36

11.3, 11.2

建物番号 *

回答を入力

地図番号 *

回答を入力

調査日 *

日付
年 / 月 / 日

空き家判定士番号 *

回答を入力

空き家判定士氏名 *

回答を入力

この入力画面に従い、各項目に調査結果を入力します。

	1. 影響なし	2. 影響あり
隣接建物	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
前面道路	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

コメント

特記事項等

回答を入力

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

調査結果の入力後、フォーム下部にある[送信]ボタンをクリックすると、送信完了画面に遷移します。

4.2.4.2. 緯度、経度入力値の規制エラー

緯度、経度の入力において、入力規制に従わないと以下のエラーテキストが表示されます。

緯度、経度 *
Google マップから、緯度、経度を取得してください。 goo.gl/uo6l36

ABC

座標は Google マップから取得した通りに入力してください(例: 12.123, 12.123)

4.2.4.3. 必須項目エラー

コメント以外の入力項目はすべて必須項目となっているため、回答に漏れがある状態でフォームを送信しようとした場合、入力されていない必須項目の背景に色付けをした状態で入力フォームを再表示します。

空き家外観調査票

***必須**

市町村 *
海部郡美波町

所在地 *
市町村より後の住所を入力してください
恵比須浜字田井266

緯度、経度 *
Google マップから、緯度、経度を取得してください。 goo.gl/uo6l36
33.745360, 134.558577

建物番号 *
回答を入力
この質問は必須です

地図番号 *
回答を入力
この質問は必須です

調査日 *
日付
2016/11/09

4.2.5. 送信時イベント

入力したフォームを送信する際、本システムでは Google Apps Script で提供されている「トリガー」と呼ばれる機能を使い、以下の独自機能が自動で実行されます。

空き家情報管理システム仕様書

このイベントはフォームからデータが送信されてスプレッドシートにデータが登録された直後に起動します。イベントではスプレッドシートに登録されたデータを走査し、総合評価が未記入のデータが存在するかを確認します。総合評価が記載されていないデータがあれば下記の処理を行い、総合評価、Google マップリンクをスプレッドシートに書き込みます。

4.2.5.1. 総合評価算出処理

入力された「空き家の老朽度・危険度」、「周辺への影響」の情報をもとに、以下の条件で総合評価を算出します。

- 「空き家の老朽度・危険度」で全てが「1」の場合は「A」
- 「空き家の老朽度・危険度」で一つでも「3」がある場合は「C」
- 総合評価が「C」で、かつ「周辺への影響」の「4. 建物が倒壊した場合」に一つでも「2」がある場合は「D」
- 上記以外は「B」

4.2.5.2. Google マップリンク作成処理

入力された「緯度、経度」を元に、該当する場所を表示する Google マップのリンクを自動生成します。Google マップのリンク URL は以下の内容で作成されます。

`http://maps.google.com/maps?q=緯度, 経度`

スプレッドシート上で URL をハイパーリンクとして登録するため、上記の URL を内包する HYPERLINK 関数の式を作成します。

`=hyperlink("http://maps.google.com/maps?q=緯度, 経度", "座標を表示")`

作成されたハイパーリンクは、スプレッドシート上で以下のように表示されます。

	AJ	AK	AL	AM	AN	AO
1	4. 建物が倒壊した場合 [前面道路]	コモト	総合評価	Google Map	外観調査レポート	二次調査結果
2	2. 影響あり	Windows 10 Pro / Google Chrome にて登録	総合評価:B	B	座標を表示	
3	1. 影響なし	Windows 10 Pro / Google Chrome にて登録	総合評価:C	C	http://maps.go...0.134.356151	
4	2. 影響あり	Windows 10 Pro / Google Chrome にて登録	総合評価:D	D	座標を表示	

セルにカーソルを合わせると Google マップのリンク URL が表示されるので、表示された URL をクリックすると新しいウィンドウが開き、Google マップが表示されます。

4.3. 空き家外観調査票管理シート

4.3.1. 概要

空き家判定士が入力フォームから送信した調査結果を集約するファイルです。

本システムではこのファイルは市町村毎に管理され、全体の管理者はそれに加えて「調査結果ログ」、

「管理者用マスタ」の2つのシートを管理します。

4.3.2. 閲覧、編集権限

本管理シートは市町村毎に異なるスプレッドシートを利用します。

ユーザー種類	所属市町村のスプレッドシートの閲覧、編集権限	所属外市町村のスプレッドシートの閲覧、編集権限
システム管理者	○	○
各市町村の管理者(G Suite アカウント保有者)	○	

システム管理者は全市町村の管理シートを保持し、各市町村の管理者を、それぞれのスプレッドシートへの共同編集者として招待します。

招待の方法は、Google の以下のドキュメントに記載されている、[特定のユーザーと共有する] [Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド]、または [特定のユーザーと共有する] [Google ドライブ] をご確認ください。

・ファイルやフォルダを共有する:

<https://support.google.com/docs/answer/2494822?co=GENIE.Platform%3DDesktop&hl=ja>

各市町村の管理者は招待されたスプレッドシートのみ、閲覧、編集が可能になります。

4.3.3. 項目一覧

No.	項目名	種類	更新タイミング	説明
1	タイムスタンプ	日付		Google フォームからデータが登録された時間を自動的に登録します。
2	市町村	文字列	入力フォーム送信	空き家判定士が調査結果を入力した入力フォームの入力内容がそのまま反映されます。
3	所在地	文字列		
4	地区名	文字列	管理者による入力	管理シートの中の項目です。管理者が必要に応じて記入します。
5	緯度、経度	文字列	入力フォーム送信	空き家判定士が調査結果を入力した入力フォームの入力内容がそのまま反映されます。
6	建物番号	文字列		
7	地図番号	文字列		
8	所有者等氏名	文字列	管理者による入力	管理シートの中の項目です。管理者が必要に応じて記入します。
9	所有者等住所	文字列		
10	所有者等意向	文字列		

空き家情報管理システム仕様書

11	調査日	文字列	入力フォーム送信	入力フォームに入力された調査日を文字列として登録します。	
12	調査番号(二次調査)	文字列	管理者による入力	管理シートのための項目です。管理者が必要に応じて記入します。	
13	空き家判定士番号	数値	入力フォーム送信	空き家判定士が調査結果を入力した入力フォームの入力内容がそのまま反映されます。	
14	空き家判定士氏名	文字列			
15	調査立会者	文字列	管理者による入力	管理シートのための項目です。管理者が必要に応じて記入します。	
16	連絡先	文字列			
17	1. 電線の引き込みや電気メータがない	特定形式	入力フォーム送信	入力フォームの入力内容を元に、"○"か"×"が登録されます。	
18	2. 郵便受けが塞がれているまたは郵便物等が大量にたまっている	文字列			
19	3. 雨戸を閉め切っている	文字列			
20	4. 表札やカーテンがない	文字列			
21	5. 生活感がない(洗濯物・家庭用品等が見えない)	文字列			
22	6. 「入居者募集」や「売物件」等の看板がある	文字列			
23	7. その他	文字列			
24	1. 種類	文字列			入力フォームの入力内容を元に、入力された項番が登録されます。「その他」が選択された項目は、入力された文字列が登録されます。
25	2. 構造	文字列			
26	3. 階数	文字列			

27	4. 屋根	文字列		<p>入力フォームの入力内容を元に、入力された項番が登録されます。複数項目がチェックされていた場合、カンマと半角スペース(,)で区切って複数項目が登録されます。「その他」が選択された項目は、入力された文字列が登録されます。</p> <p>入力フォームの入力内容を元に、入力された項番が登録されます。「その他」が選択された項目は、入力された文字列が登録されます。</p> <p>空き家判定士が調査結果を入力した入力フォームの入力内容がそのまま反映されます。</p> <p>Google フォームを送信した際、自動で実行される送信イベントによって入力されます。</p> <p>管理者による入力 管理者が必要に応じて記入します。</p>
28	5. 外壁	文字列		
29	6. 門扉	文字列		
30	7. 塀	文字列		
31	8. 駐車場	文字列		
32	9. 前面道路	文字列		
33	1. 建物の傾斜	文字列		
34	2. 屋根	文字列		
35	3. 外壁	文字列		
36	4. 居住可能性	文字列		
37	1. 雑草・樹木	文字列		
38	2. 物品・廃棄物	文字列		
39	3. 開口部	文字列		
40	4. 建物が倒壊した場合 [隣接建物]	文字列		
41	4. 建物が倒壊した場合 [前面道路]	文字列		
42	コメント	文字列		
43	総合評価	文字列		
44	Google Map	HYPERLINK 関数	送信イベント時	
45	一次調査(根拠写真)	文字列	管理者による入力	
46	二次調査(空き家カルテ)	文字列		

47	二次調査(現況建物調査チェックシート)	文字列		
48	二次調査(修繕概算見積書)	文字列		
49	サイト URL	文字列	データ登録イベント時	管理者がデータ登録メニューをクリックした際に入力されます。
50	耐震診断結果	文字列	管理者による入力	管理者が必要に応じて記入します。
51	耐震改修結果	文字列		
52	備考1	文字列		予約領域です。必要に応じて、管理者は自由に使用することができます。
53	備考2	文字列		
54	備考3	文字列		
55	データを登録する	特定形式		管理者が必要に応じて記入します。データ登録イベントの対象とする時のみ、"○"を入力します。その他の文字列、数式は入力できません。

4.3.4. カスタムメニュー

管理シートには、[データ登録]という本システム用に開発されたカスタムメニューがあります。



メニューにある [データ登録] をクリックすると表示されるプルダウンメニューに [Google サイト、Fusion Tables にデータを登録する] というカスタムメニューがあります。

このメニューは、管理シートの列 [データを登録する] に「○」が入力された行を対象に、空き家外観調査票 Google サイト、及び Fusion Tables にデータを自動登録する処理を実行します。

4.3.4.1. 処理フロー

データ登録は、以下の順序で処理を行います。

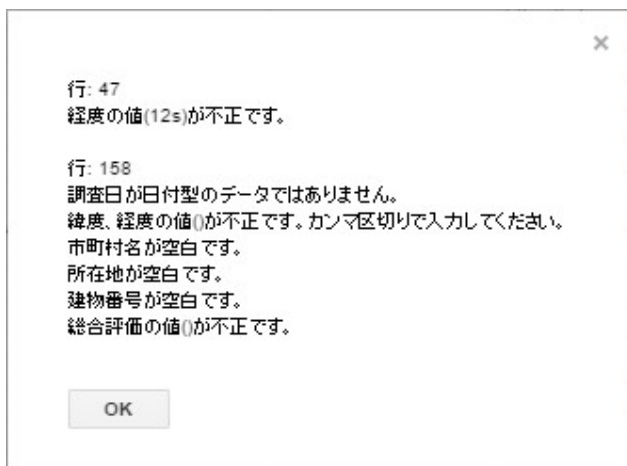
1. 管理シートの列 [データを登録する] に「○」が入力された行のデータを全て取得します。
2. 空き家外観調査票 Google サイトに対象となる物件の外観調査結果確認画面を作成します。

3. 管理シートの列 [サイト URL] に、作成した外観調査結果確認画面の URL を登録します。
4. Fusion Tables にデータを登録します。
5. 管理シートの列 [データを登録する] に入力してあった「○」を削除します。

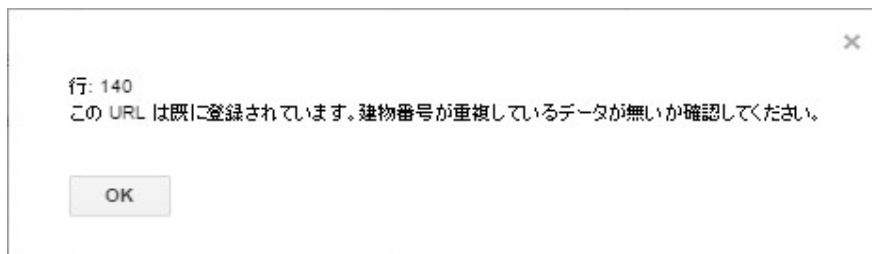
なお、外観調査結果確認画面の URL は、空き家外観調査票Google サイトの URL 配下に建物番号を元に生成しているため、同一の Google サイト内で建物番号が重複したデータが存在する場合は、ページ作成時に URL 重複のエラーが発生します。

4.3.4.2. エラーチェック

データ登録機能では、登録処理の前に登録対象となっているスプレッドシートの行の項目チェックを行います。チェックでエラーとなった行は登録を行わずに、他の登録対象の行の処理が終わってから、チェックエラーとなった情報を表示します。



外観調査結果確認画面を作成する際、対象の URL に既に外観調査結果確認画面が作成されている場合は重複エラーが発生します。エラーが発生した場合は、同一 URL のページを削除してからデータ登録をやり直すか、URL を生成する元のデータとなっている建物番号が誤って重複していないか確認してください。



予期しないエラーが発生した場合は、「システム管理者に連絡してください。」というメッセージと発生したエラーの詳細情報が表示されます。

4.3.4.3. 大量データ実行時の処理について

データ登録機能は Google Apps Script という開発者向けの機能を利用して実現しています。Google Apps Script で実行できる処理には一度の処理の実行時間が 6 分までという制限があることから、大量のデータを登録するケースを想定して、本システムでは以下の特殊処理を行っています。

- 一度に 20 件までのデータ登録を実行します。(入力チェック等でエラーとなった行はカウントしません。)
- 20 件のデータ登録が完了し、まだ他に登録対象のデータが残っている場合、80 秒後にデータ登録機能を自動的に再起動するように設定します。再起動したデータ登録機能は、バックグラウンドで自動的に実行されます。
- 登録可能な登録対象のデータの処理が全て完了した場合、データ登録機能は再起動設定をせずに処理を終了します。

Google Apps Script の制限事項については、以下をご参照ください。

・Quotas for Google Services :

<https://developers.google.com/apps-script/guides/services/quotas>

4.4. 調査結果ログ

Google フォームから入力されたデータは、まずこの調査結果ログに格納され、その直後に起動する送信時イベント(「4.2.5 送信時イベント」を参照)によって各市町村の管理するスプレッドシートにデータがコピーされます。このファイルには全市町村の空き家データが格納されるため、全体の管理を行う住宅供給会社のアカウントしかアクセスすることはできません。

このシートの項目は「4.3 空き家外観調査票管理シート」と同様ですが、このファイルにはカスタムメニューは存在しません。

4.4.1. 閲覧、編集権限

システム管理者のみ、閲覧、編集が可能です。

ユーザー種類	閲覧権限	編集権限
システム管理者	○	○

4.4.2. タイムトリガーイベント

入力フォームの送信時に行っている「4.2.5 送信時イベント」が想定外の原因で実行時に失敗することを考慮し、調査結果ログでは同様のイベントを 1 時間おきに起動するように設定しています。

1 時間おきに総合評価が未記入のデータが存在しないかチェックし、もし存在した場合は送信時イベントと同様の処理を自動で実行します。

4.5. 管理者用マスタ

4.5.1. 概要

本システムでは、市町村毎にスプレッドシート、Google サイト、Fusion Tables をそれぞれ分割して管理しています。管理者用マスタでは、それら市町村毎のファイルのドキュメント ID、サイト URL、Fusion Tables ID を設定しています。

Google フォームの送信時イベントやスプレッドシートのデータ登録処理では、このファイルに設定された情報を参照することで更新対象のファイルや Google サイトを特定しています。

4.5.2. 閲覧、編集権限

システム管理者のみ、閲覧、編集が可能です。

ユーザー種類	閲覧権限	編集権限
システム管理者	○	○

4.5.3. 項目一覧

項目名	説明
市 町 村 名	システムを利用する各市町村名
SpreadSheet ID	各市町村の空き家情報を登録するスプレッドシートの ID です。ID はスプレッドシートの URL の以下に記載されています。 <i>https://docs.google.com/spreadsheets/d/スプレッドシートID/edit#gid=0</i>
Site URL	各市町村の空き家情報を登録する Google サイトの URL です。
Fusion Tables ID	各市町村の空き家情報を登録する Fusion Tables の ID です。Fusion Tables の ID は Fusion Tables のメニュー [About this table] から確認することができます。

4.6. 空き家外観調査票 Google サイト

4.6.1. 概要

本システムでは、Google フォームで収集した空き家の一次調査結果をまとめた Google サイトが利用できます。

各市町村の管理者がスプレッドシート上で「データ登録」メニューをクリックすることで、収集した一次調査結果の情報が自動で本サイトに登録されます。

4.6.2. 閲覧、編集権限

本 Google サイトは、市町村毎に異なる Google サイトを利用します。

ユーザー種類	所属市町村の Google サイトの閲覧、編集権限	所属外市町村の Google サイトの閲覧、編集権限
システム管理者	○	○
各市町村の管理者(G Suite アカウント保有者)	○	

システム管理者は全市町村の Google サイトを保持し、各市町村の管理者を、それぞれの Google サイトへの共同編集者として招待します。

招待の方法は、Google の以下のドキュメントに記載されている、[他のユーザーにサイトの編集を許可する]をご確認ください。

- ・ウェブサイトを編集できるユーザーを指定する：

<https://support.google.com/docs/answer/2494822?co=GENIE.Platform%3DDesktop&hl=ja>

各市町村の管理者は編集を許可された Google サイトのみ、閲覧、編集が可能になります。

4.6.3. 画面遷移

各市町村担当者は、事前に入手した URL から自分が招待された Google サイトにアクセスすることができます。

4.6.3.1. TOP 画面

市町村毎の Google サイトにアクセスすると、以下の TOP 画面が表示されます。



画面左部のメニュー、及び画面中央のサブページリストには登録された全物件のリストが存在し、このリストは「4.3.4 カスタムメニュー」で紹介したデータ登録機能を実行することで自動的に追加されます。

検索フォームの検索結果で表示されたリンク、及びサブページリストに表示されているリンクをクリックすると、クリックした物件の外観調査結果確認画面に遷移します。

4.6.3.2. 外観調査結果確認画面

外観調査結果 徳島市 このデータを印刷

ホーム > 万代町1丁目1番地 > 寺島本町西1丁目61

所在地	徳島県徳島市寺島本町西1丁目61	建物番号	徳島-0002	地図番号	IT-02
空き家判定士 No.	5	調査日	2016年11月10日		
氏名	徳島 花子				

A 空き家であることの確認

調査項目	該当項目に
1 電線の引き込みや電気メータがない	○
2 郵便受けが壊れているまたは郵便物等が大量にたまっている	×
3 扉が閉鎖されている	○
4 表札やカーテンがない	×
5 生活感がない(洗濯物・家具用品等が見えない)	×
6 「入居者募集」や「売物件」等の看板がある	×
7 その他	×

B 空き家の概要

調査項目	該当番号記入
1 種類	2
2 構造	2
3 階数	2
4 屋根	2
5 外壁	2
6 門扉	1
7 扉	2
8 駐車場	1
9 前面道路	1

C 空き家の劣化度・危険度

調査項目	該当番号記入
1 建物の傾斜	2
2 屋根	1
3 外壁	3
4 居住可能性	1

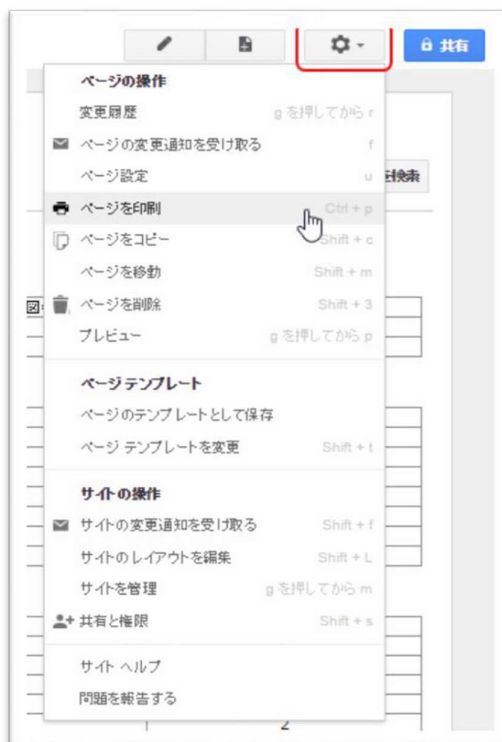
D 周辺への影響

調査項目	該当番号記入
1 雑草・樹木	1
2 物品・廃棄物	1
3 開口部	1
4 建物に倒壊した疑 隣接建物	1
5 前面道路	2

E コメント
調査の結果、建物が倒壊した場合に前面道路に影響があるため、取卸の必要性が高いことが分かった。所有者の意向も、年内には取卸する方針で検討しているとのこと。

F 総合評価
D

外観調査結果確認画面では、紙媒体で利用されている空き家外観調査票と同様のフォーマットで管理シートに登録されている情報を確認することができます。ページの印刷を行う場合は、画面右上の「その他の操作」をクリックして展開されるプルダウンメニューから、「ページを印刷」をクリックしてください。



印刷画面が表示されますので、ウェブブラウザの標準印刷機能を利用し、印刷を行ってください。

4.7. 空き家情報管理システム Fusion Tables

4.7.1. 概要

本システムでは、Google マップと連携するために Fusion Tables というオンラインのデータベースツールを利用しています。管理者の Google アカウントから Fusion Tables の管理画面にログインすることで、登録した空き家の情報をマッピングした GIS 画面を参照することができます。

4.7.2. 閲覧、編集権限

本システムでは市町村毎に異なる Fusion Tables を利用します。

ユーザー種類	所属市町村の Fusion Tables の閲覧、編集権限	所属外市町村の Fusion Tables の閲覧、編集権限
システム管理者	○	○
各市町村の管理者(G Suite アカウント保有者)	○	

システム管理者は全市町村の Fusion Tables を保持し、各市町村の管理者をそれぞれの Fusion Tables への共同編集者として招待します。招待の方法は Google の以下のドキュメントに記載されて

いる、[特定のユーザーと共有する] [Google ドライブ] をご確認ください。

- ・ファイルやフォルダを共有する:

<https://support.google.com/docs/answer/2494822?co=GENIE.Platform%3DDesktop&hl=ja>

各市町村の管理者は招待された Fusion Tables のみ、閲覧、編集が可能になります。

4.7.3. 項目一覧

Fusion Tables に登録されている項目は空き家外観調査票管理シートの「4.3.3 項目一覧」から[タイムスタンプ]、[Google Map]、「データを登録する」を削除し、GIS 画面上のアイコンを指定する MapMarker を追加したのになります。

項目名	種類	更新タイミング	説明
MapMarker	文字列	管理者が空き家外観調査票スプレッドシートのカスタムメニュー「データ登録」クリック時	総合評価の結果を元に、以下のルールで色分けしたマーカーの値が登録されます。 ・総合評価 A: small_blue ・総合評価 B: small_green ・総合評価 C: small_yellow ・総合評価 D: small_red

Fusion Tables にデータが登録されるタイミングは、スプレッドシートカスタムメニューから Google サイトを作成する際に同時に登録されます。Fusion Tables へのデータの登録には、Google サイトと同様に「4.3.4 カスタムメニュー」の [Google サイト、Fusion Tables にデータを登録する] を実行して物件の情報を登録します。

4.7.4. 各種機能

Fusion Tables には様々な機能が用意されています。詳細は以下のドキュメントをご参照ください。

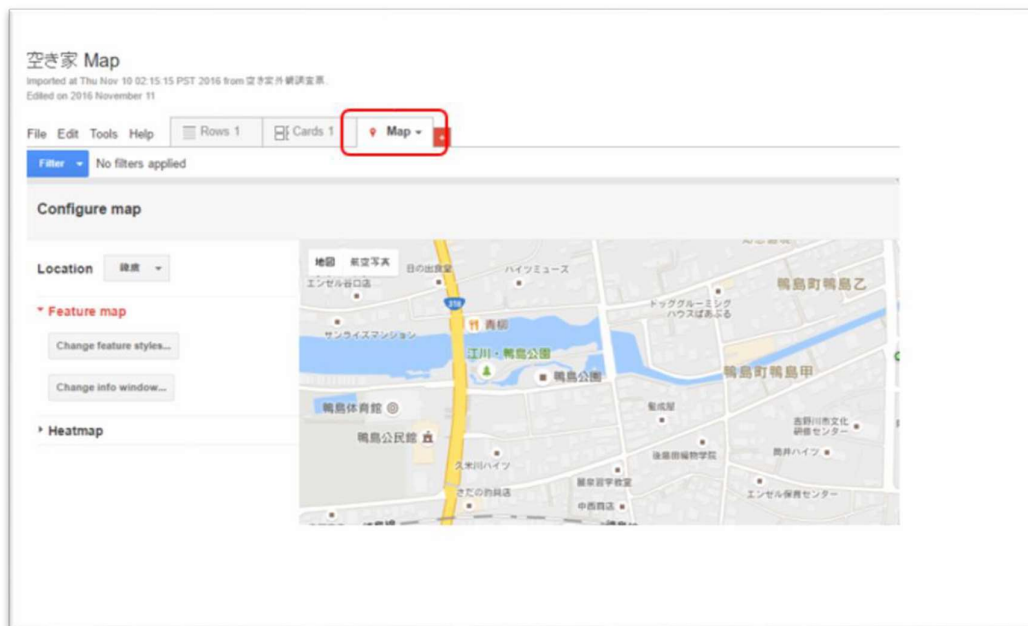
- ・ Fusion Tables Help: <https://support.google.com/fusiontables#topic=1652595>

本章では、空き家情報の管理に使用できる代表的な機能を記載しています。

4.7.4.1. Google マップ機能

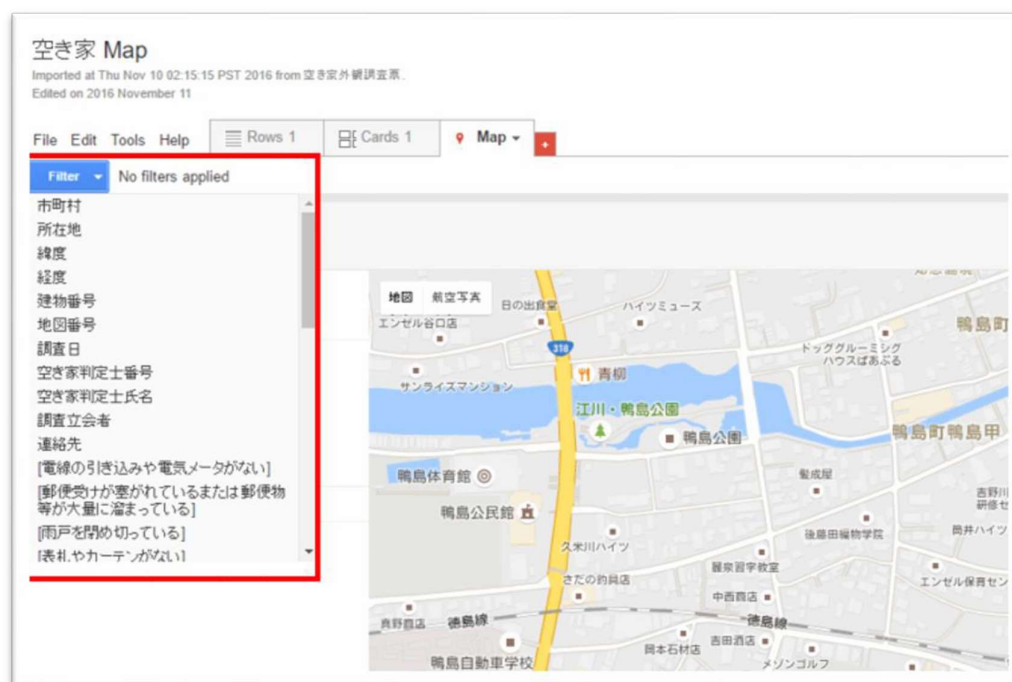
Fusion Tables では、入力された物件を地図上に配置した Google マップがリアルタイムで生成されます。Google マップは管理画面上部の [Map] タブから確認することができます。

空き家情報管理システム仕様書



4.7.4.2. フィルター機能

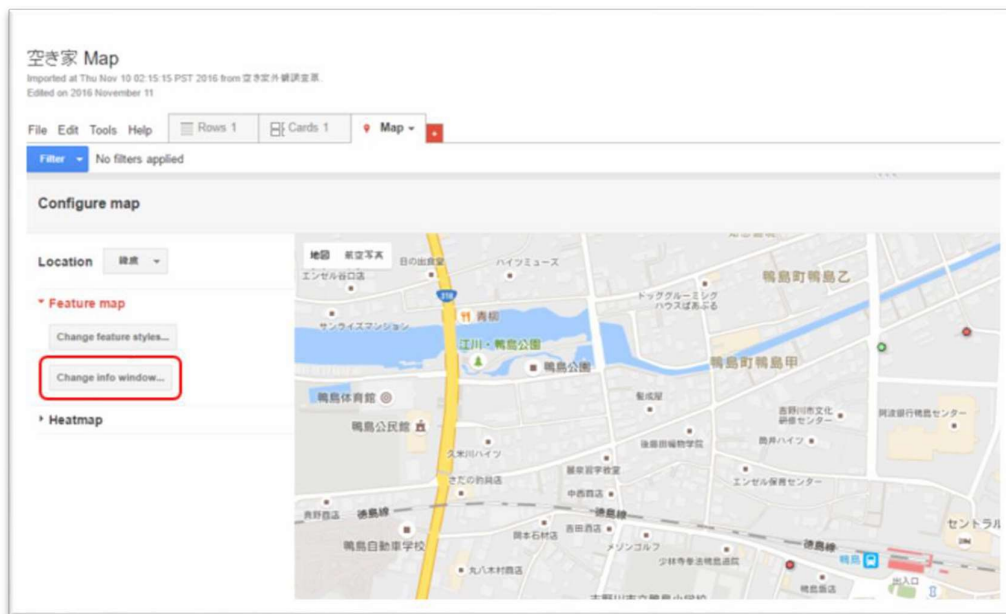
管理画面左部にある [Filter] メニューをクリックすることで、各項目の設定値で登録されているデータの絞り込み、及び検索が行えます。



Filter から条件を指定することで、地図上に表示されている物件の絞り込みを行うことができます。

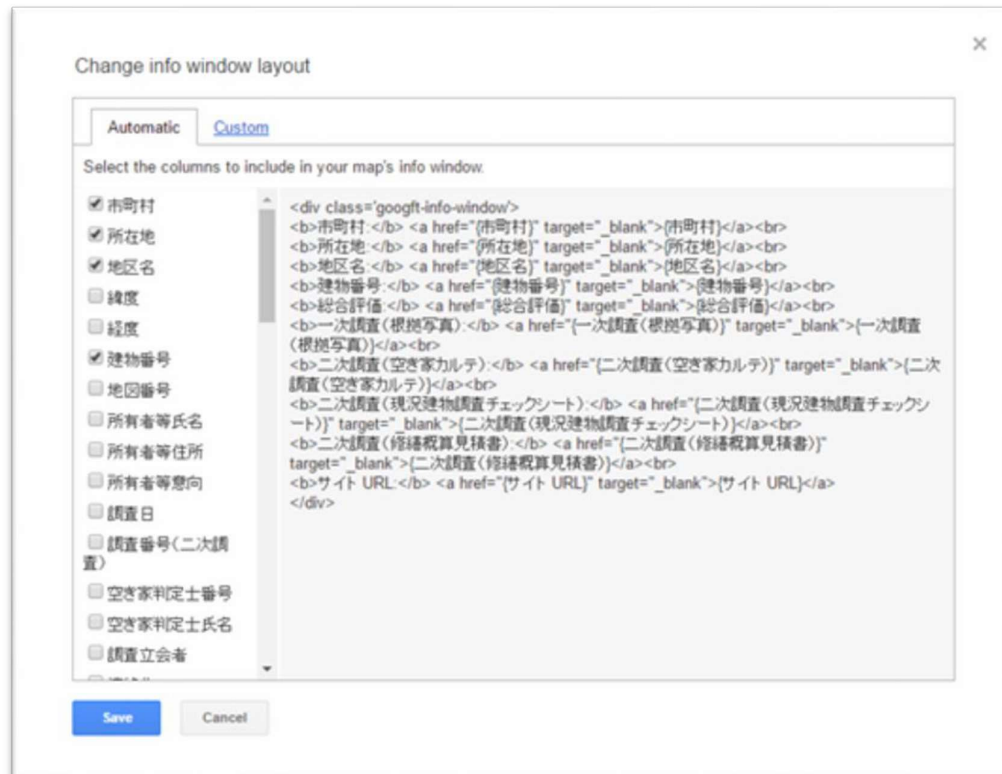
4.7.4.3. 情報ウィンドウの設定

マップ上に配置された物件のアイコンをクリックした際に表示される、情報ウィンドウに表示する項目は管理者が自由に設定することができます。変更するにはマップ画面左部の [Change info window...] メニューをクリックします。



[Change info window layout] ウィンドウが表示されます。

表示したい項目を順番にチェックし、情報ウィンドウに表示する項目を選択してください。



4.7.4.4. Google マップ画面の共有

Fusion Tables の公開設定を変更することで、Google マップのリンクを作成し、リンク用の URL として共有することができます。

注意

通常の共有設定では特定のユーザーにしか閲覧を許可していないため、共有設定を「リンクを知っている全員」に変更する必要があります。G Suite Business を利用しているアカウントで上記の共有設定に変更する方法は、Google の以下のドキュメントに記載されている、[ユーザーが組織外の全ユーザーとファイルを共有できるようにする] をご確認ください。

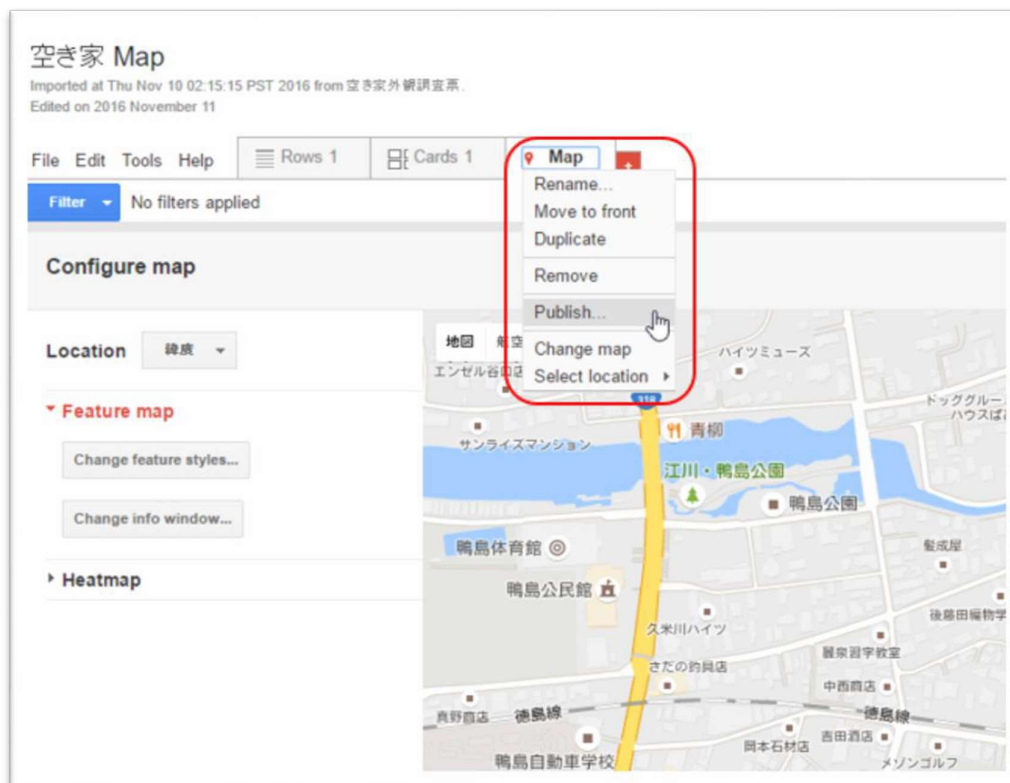
・ファイルの共有権限の設定：<https://support.google.com/a/answer/60781?hl=ja>

この変更を行った場合はその URL を知っている誰もが参照可能となるため、情報ウィンドウに表示する情報を最低限のものにするなどの対策をおこなってください。

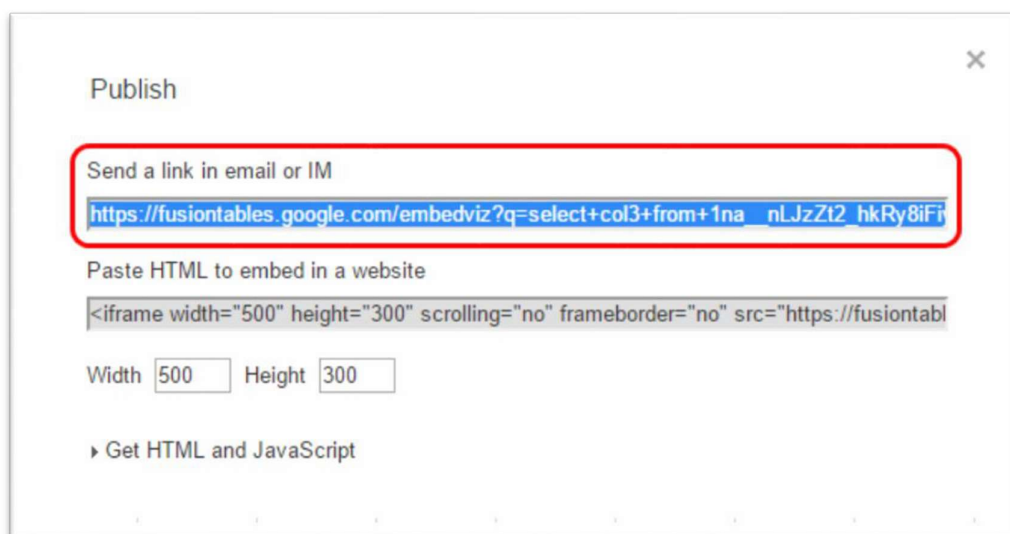
また、この共有設定の変更を行うと、Fusion Tables 管理画面も URL 経由で誰でも閲覧可能になります。

Fusion Tables 管理画面の URL は外部に公開しないようにしてください。

Map タブの右端にある「▼」アイコンをクリックし、展開されたプルダウンメニューから [Publish...] メニューをクリックします。



Publish というダイアログが表示されるので、[Send a link in email or IM] というラベルの下に表示されている URL をコピーし、共有が必要な相手にその URL を通知してください。

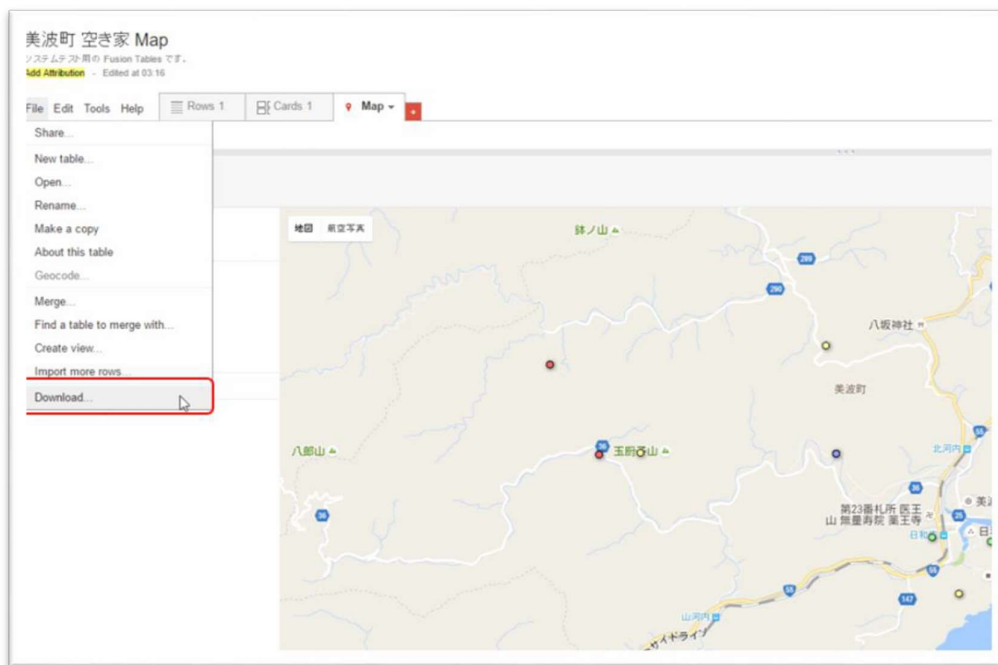


4.7.4.5. KML ファイルのエクスポート

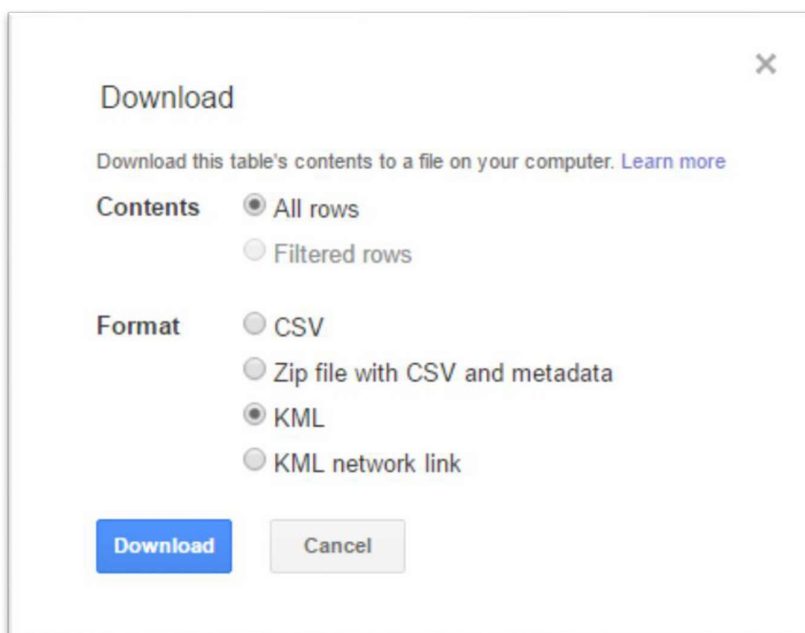
Fusion Tables に登録されているデータは、KML ファイルの形式でエクスポートすることが可能で

す。

「4.7.4.1 マップ機能」に記載した Google マップの画面を表示している状態で、メニューの [File] をクリックし、展開されたプルダウンメニューから [Download...] メニューをクリックします。



Download ダイアログが表示されるので、ラジオメニューから [KML] を選択し、[Download] ボタンをクリックしてください。



- 以上 -